

被爆者援護法に基づく葬
 祭料の支給申請を却下し
 たのは違法として、韓国
 を求めた訴訟の判決で、
 人被害者の故郷季歳さん
 長崎地裁の田川直之裁判

死去の遺族が長崎市を
 相手取り、処分取り消し
 を求めた訴訟の判決で、
 処分を取り消す原告側勝
 訴の判決を言い渡した。

「法廷受託事務なので国
 と協議を行う」とした上
 で、国に控訴断念を促す
 方針を示した。海外で死

小千谷のために もう一踏ん張り

震災被害
老舗割烹 来月営業再開へ

中越地震で大きな被害
 を受け休業、一時は廃業
 蔵もつぶれた。
 に傾いた小千谷市の老舗
 割烹「東忠」が四月十一

日、五方月半ぶりに営業
 再開する。歴史を背負っ
 た外観や雰囲気はそのま
 まに、基礎や壁を強化す
 る工事が急ピッチで進め
 られている。

「東忠」の存在理由は「昔
 ながら」。安全性を高め
 ながら、どこ直したんだ
 といわれるように雰囲気
 は変えない」と東さんは
 きっぱり。再開初日はい
 つも通り客を迎えるつも
 りだ。

東忠は江戸時代中期創
 業。「北越雪譜」にも記
 され、戊辰戦争の命運を
 左右した小千谷談判の際
 には長岡藩執政、河井継
 之助が昼食をとったこと
 でも知られる。

「小千谷には東忠が必
 要」「お前らの代でつぶ
 すな」と得意先やファン
 からの励ましにも後押し
 された。「おこがまし
 ょうですが、私たちが

「法廷受託事務なので国
 と協議を行う」とした上
 で、国に控訴断念を促す
 方針を示した。海外で死

「東忠」の存在理由は「昔
 ながら」。安全性を高め
 ながら、どこ直したんだ
 といわれるように雰囲気
 は変えない」と東さんは
 きっぱり。再開初日はい
 つも通り客を迎えるつも
 りだ。

「東忠」の存在理由は「昔
 ながら」。安全性を高め
 ながら、どこ直したんだ
 といわれるように雰囲気
 は変えない」と東さんは
 きっぱり。再開初日はい
 つも通り客を迎えるつも
 りだ。



柱や土台がむき出しになった現場で工事担当者
 と打ち合わせする東亮一さん(中央)と八重子
 さん(左)＝小千谷市元町の割烹「東忠」

「思い出新聞」



◇写真タイプ

台湾人客誘致 秘訣を学ぼう

中越地震の二次被害な
 どから立ち直ろうと、県
 内の観光関係の団体らで
 つくる県観光復興会議の
 第一回佐渡部会が八日、
 佐渡市のホテルで開かれ
 た。泉田裕彦知事や佐渡
 島内の観光関係者ら約二
 十人が、台湾人観光客を
 呼び込む秘訣などを、先
 進地から学んだ。

同部会は前回、天候が